

## 【同時記者発表クラブ】

国土交通省九州記者会

九州建設専門記者クラブ

平成28年4月22日  
14時00分  
海 事 局  
港 湾 局平成28年熊本地震を受けた八代港・博多港間の「海上代替航路」の臨時開設について  
～八代港を活用した九州の南北を結ぶ「海上コンテナ輸送航路」を臨時で開設～

熊本地震の被災地においては、幹線道路の混雑等により、生活物資の安定供給、被災地域の企業等の安定的な物流ルート確保が求められております。

この状況に鑑み、井本商運(株)のご協力の下、八代港を拠点に、九州の南北を結ぶ「海上代替航路」を4月23日に臨時開設し、多様な物流ルートの確保により、生活物資の安定輸送や今後の被災地域の産業活動の復旧を支援して参ります。

今般の熊本地震による幹線道路の混雑等(※)で、被災地域の企業等においては、北部九州や本州に製品出荷等を行う際に、安定的な物流ルート確保に苦心されております。

※ 八代市の企業の方によると、八代から福岡まで通常2時間弱が5時間弱かかるので、余裕をもったスケジュールを見る必要がある、とのこと(4月21日(木)夕方時点)

被災地域と博多港間には、通常、海上の「コンテナ航路」は存在しませんが、井本商運(株)(※)のご協力を得て、八代港・博多港間に臨時で開設することになりました(別紙1参照)。

この「海上代替航路」により、多様な物流ルートを確保し、被災地の生活や産業活動の安定・回復を物流面で支えられるよう取り組んで参ります。

※ 同社は、国際コンテナ港湾政策の国内集貨に積極的に取り組んでいただいている海運事業者で、地方港から欧米等へ輸出入の際に、京浜港・阪神港までの国内コンテナ輸送サービスを主に行っております(別紙2参照)。

## 1. 航路及び使用船舶

航路：八代港(熊本県八代市)～博多港(福岡市)

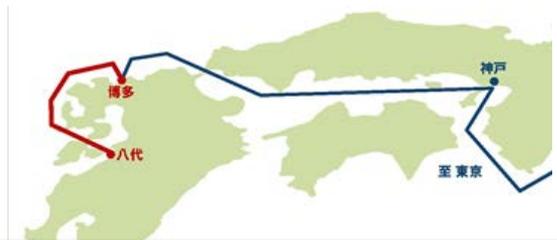
使用船舶：南新丸(積載可能コンテナ数：72TEU)

## 2. 初便の就航時期・所要時間

平成28年4月23日(土)16時 八代港発

4月24日(日)18時 博多港着

&lt;所要時間：約16時間&gt;



赤字：今回開設の航路

※ 本州方面へは博多港において船での接続輸送(青字の航路)も可能

## 3. 第2便以降のスケジュール

第2便(5月2日(月)八代港発)以降は1往復/週とし、需要に応じて増便検討

毎週月曜日：八代港発⇒火曜日：博多港着

毎週火曜日：博多港発⇒水曜日：八代港着

## 4. 運航事業者

井本商運株式会社(本社：兵庫県神戸市)



南新丸(積載可能コンテナ数：72TEU)

※本資料の写真については以下のホームページから画像を右クリックすることでダウンロードできます。

(リンク先：国土交通省HP→港湾→熊本地震情報 / URL：http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan\_fr3\_000008.html)

## 【問い合わせ先】

港湾局港湾経済課 片山、松良、森高

直通：03-5253-8628 FAX：03-5253-8937

## 【事業内容に関する問い合わせ先】

井本商運株式会社 営業部「海コン便」担当

直通：078-322-1604 FAX：078-322-1625

# 井本商運による八代港～博多港の「海上バイパス航路」の臨時開設について

## ○ 八代港発着の内航コンテナ航路

既存航路: 薩摩川内港－八代港－北九州港－神戸港(不定期)

**海上バイパス航路: 八代港－博多港**



今回開設される「海上バイパス航路」八代港－博多港

阪神港・京浜港方面へ

【通行止め】九州自動車道 植木IC～八代IC (4月21日時点)

**熊本県の主要業種**  
 事業所数 2,173事業所  
 従業者数 92,162人  
 製造品出荷額 23,850億円

既存航路 薩摩川内港－八代港－北九州港－神戸港 (不定期)

※熊本県の主要業種製造品出荷額等は「九州経済2016」より国土交通省港湾局作成

## ○ 投入される内航コンテナ船



「南新丸」 積載可能コンテナ数: 72TEU

## ○ 井本商運株式会社の概要

本社所在地	兵庫県神戸市中央区浪花町59番地 神戸朝日ビルディング22階
設立	昭和48年6月
資本金	9,500万円
代表取締役社長	井本隆之
株主	井本隆之、大阪船舶(株)、(株)商船三井 他
事業内容	内航海運業 第2種貨物利用運送事業 産業廃棄物収集運搬業 特別管理産業廃棄物収集運搬業

井本商運においては、**地方各港から国際コンテナ戦略港湾※1(京浜港・阪神港)へ接続する国際フィーダー航路※2網の拡充**や、**大型内航コンテナ船の新造・投入**などに積極的に取り組んでおり、**国際コンテナ戦略港湾への国内貨物の集約に大きく貢献**。

### ○井本商運が運航する地方各港から国際コンテナ戦略港湾へ接続する国際フィーダー航路の寄港地

- ※1 **国際コンテナ戦略港湾**  
:我が国港湾の国際競争力を強化するために選定された港湾。  
具体的には、京浜港(東京港、川崎港、横浜港)と阪神港(神戸港、大阪港)の2港。
- ※2 **国際フィーダー航路**  
:国際コンテナ戦略港湾に接続する内航コンテナ航路。

**国際フィーダー航路**  
56寄港地  
38航路



井本商運HPより国交省港湾局作成(平成28年2月時点)。寄港地は不定期航路を含む。

### ○井本商運による大型内航コンテナ船の新造・投入の動き

◆国内最大内航コンテナ船(540TEU型)「なとり」  
→京浜港～阪神港～門司・博多港航路に投入(平成27年12月～)  
内航コンテナ船で初の定曜日ウィークリーサービスを実現



◆大型内航コンテナ船(400TEU型)「さがみ」  
→京浜港～北海道・東北航路に投入(平成25年11月～)  
同型船を、平成28年度中に1隻、平成30年度に1隻新造予定



◆その他通常船を、平成28年度中に7隻新造予定  
総トン数749t(約240TEU級): 4隻  
総トン数499t(約140TEU級): 3隻